

五戸総合病院での研修を終えて

順天堂大学医学部附属浦安病院

初期研修医 猪狩颯太郎

この度は地域医療研修で1か月間受け入れて下さりありがとうございました。私が普段勤務している病院は三次救急の急性期病院であり、五戸とは全く異なるタイプの病院です。そんな私にとって、五戸での1か月は初めての経験ばかりでとても刺激的なものでした。

1か月間主に内科病棟と内科外来を担当させていただきました。病棟では研修医同士で治療方針を決定することもあり、普段は指導医が決めた方針に従っているだけの自分にとっては勉強しなくてはならないことが多く、キャパオーバーになりながらも貴重な経験をさせていただきました。外来では高血圧や糖尿病などの生活習慣病の患者様の内服管理や健診で異常を指摘された方の精査を中心に様々な症例を幅広く診させていただきました。外来での診療を通じて薬剤や心電図などに関しての自身の勉強不足を痛感させられ、患者さんが内服されている薬剤について調べながら処方を出していたことは良い思い出となりました。

また研修期間中には馬刺しや倉石牛などの五戸名物を堪能することはもちろん、青森県内(八戸・青森・弘前)や岩手(盛岡)、北海道(函館・札幌)にも足を運び、楽しい週末を過ごさせていただきました。青森にはいろいろと縁がある私ですが、東北地方の魅力を改めて実感し、またいつか青森で仕事をする機会があればと思っています。

最後になりますが、研修を受け入れて下さった安藤院長はじめ常勤の先生方、生活面でサポートしていただいた越後様はじめ管理班の皆様、外来でご相談させていただいた八戸市民病院や八戸赤十字病院の先生方、業務を手伝っていただいた病棟や外来の看護師さんをはじめコメディカルの方々には心から感謝申し上げます。また同時期に研修し、私の拙い内科診療をサポートしてくれた順天堂大学医学部附属順天堂医院の伊西先生にも感謝申し上げます。

またいつの日か皆様と一緒に働けるように、医師として成長していきたいと思っております。1か月間ありがとうございました。